

『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定に係る

転出者アンケート調査結果

実施期間：2014年8月4日～9月30日

転出者：113名

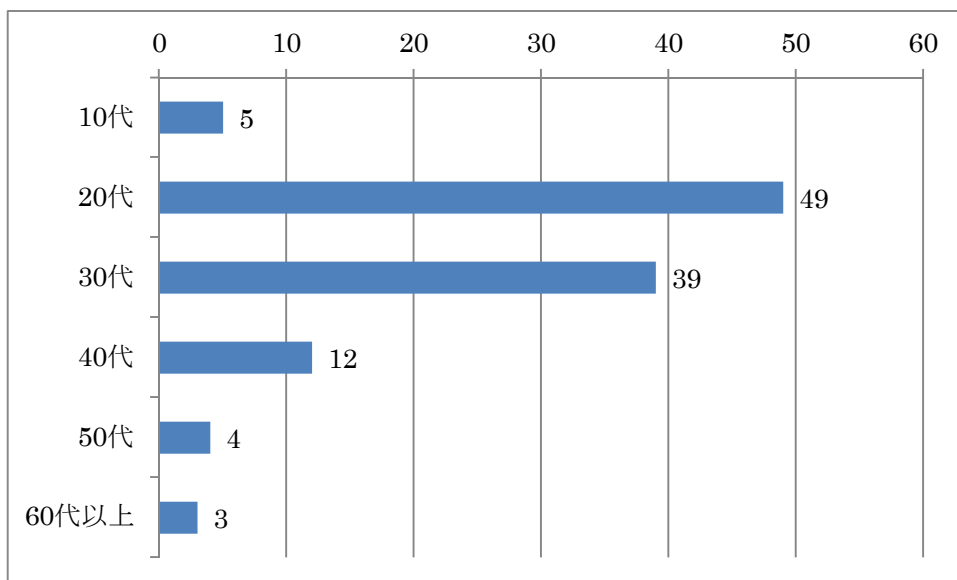
目次

1.	回答者属性（①年齢、②性別、③世帯人数、④配偶者の有無、 ⑤子どもの有無、⑥職業、⑦勤務先）	・・・2
2.	転出の理由	・・・6
3.	転出先	・・・6
4.	高根沢町についての魅力	・・・7
5.	高根沢町についての不満	・・・8
6.	転入前と転入後の住宅状況	・・・9
7.	転出者アンケートクロス集計	・・・10
	アンケート調査票	・・・12

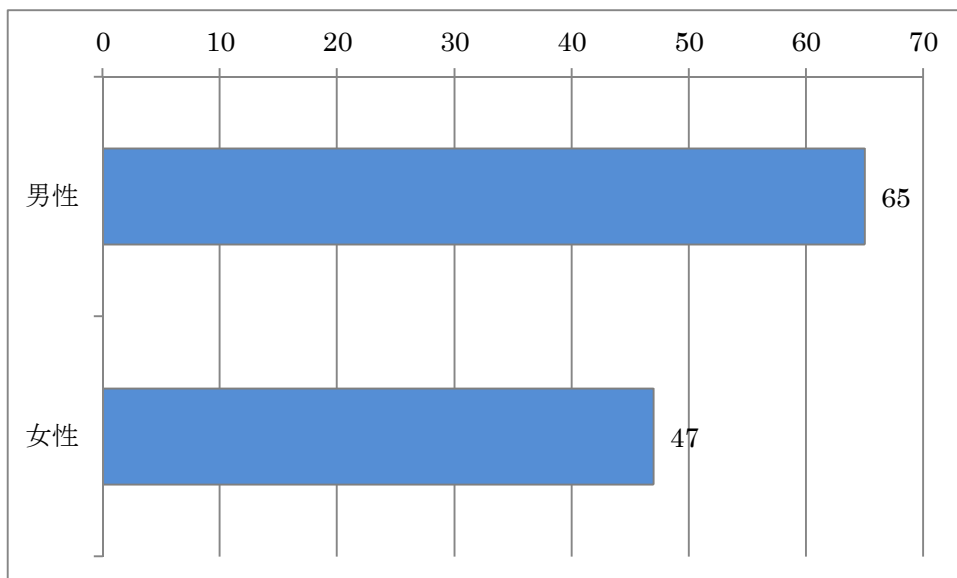
1. 回答者属性

年齢は20～30代が約8割、単身世帯が約4割で、会社員、及び勤務先が栃木県内と回答した人が約7割となっている。また、子供の有無に関しては回答者数の約4割が有りと回答し、そのうち、子供の数は1～2人と回答した人は約9割となっている。

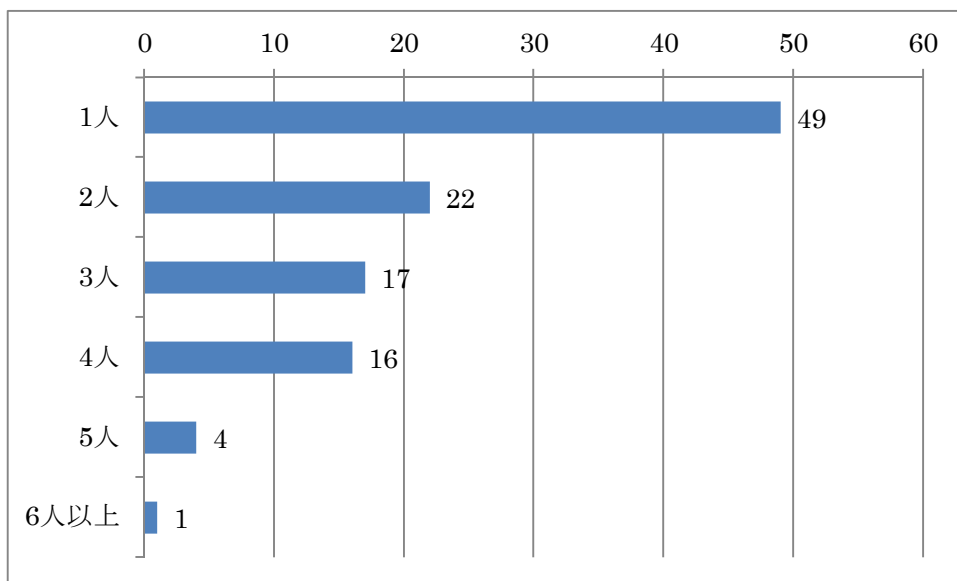
①年齢



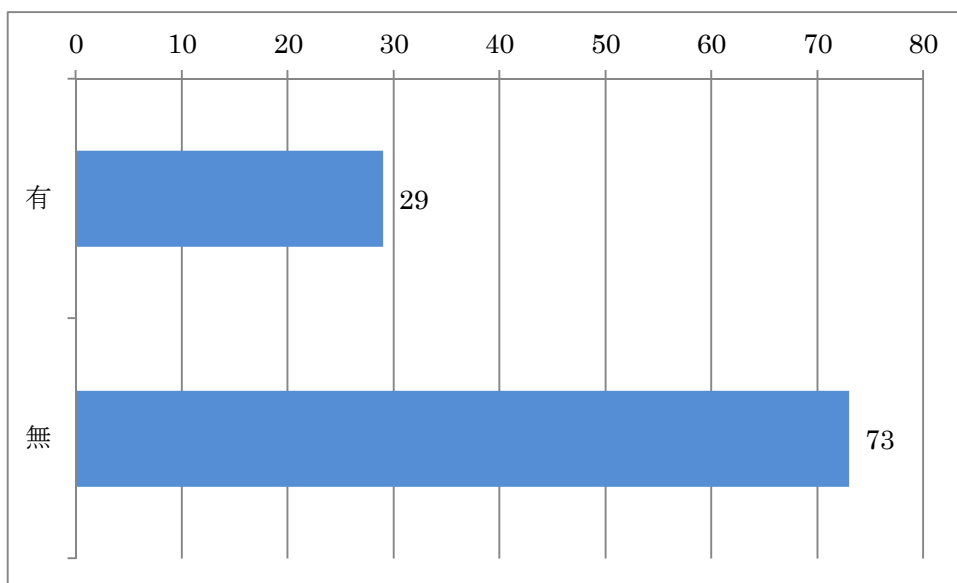
②性別



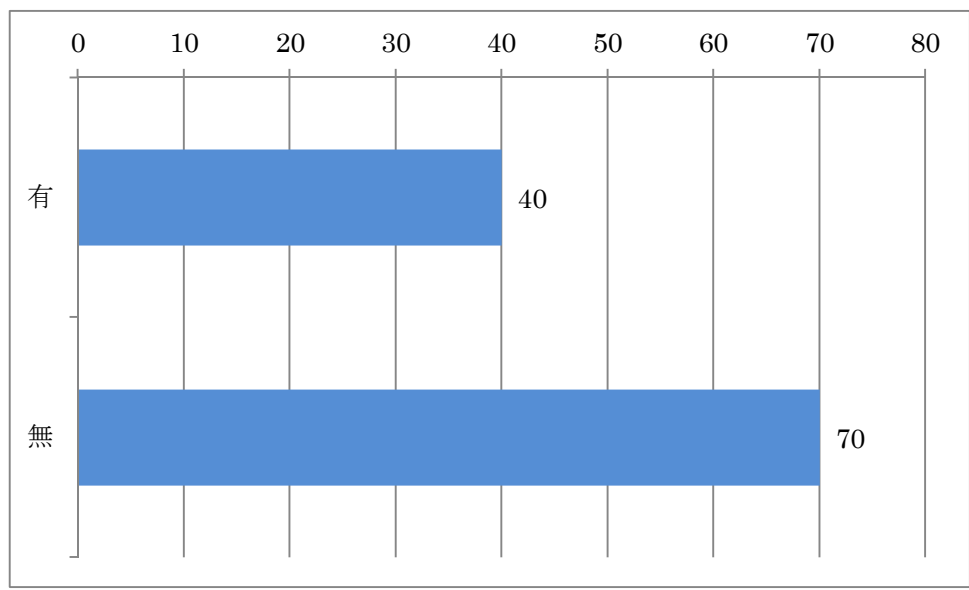
③世帯人数



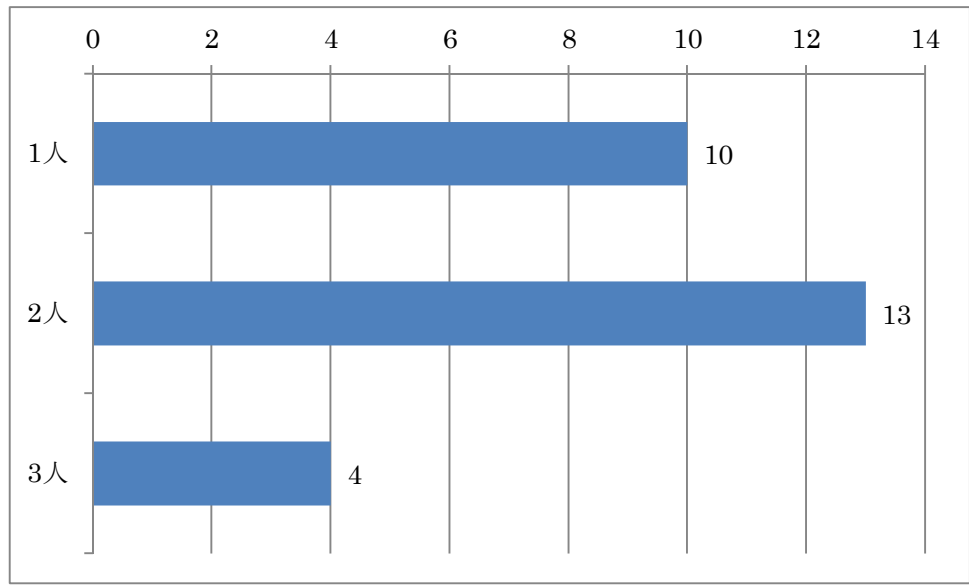
④配偶者の有無



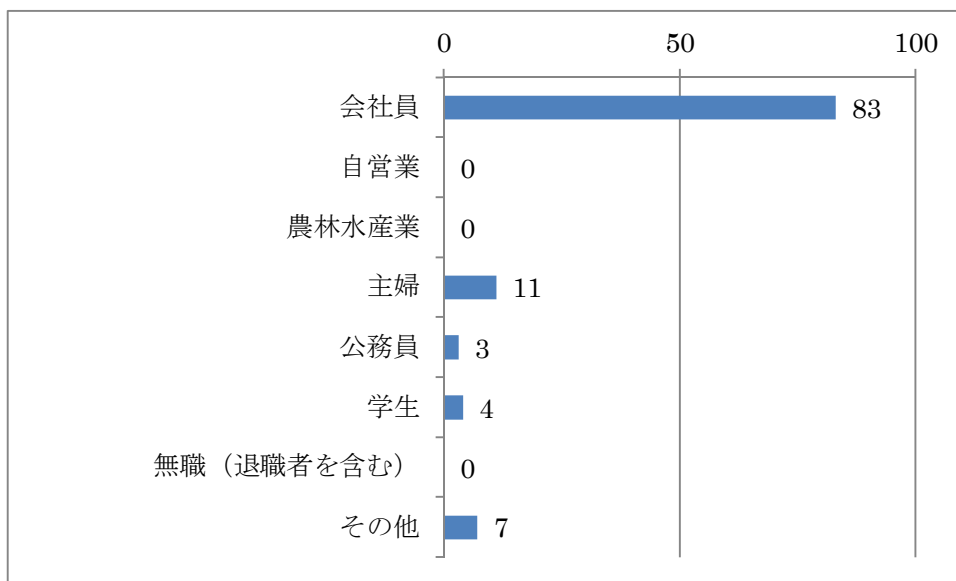
⑤子供の有無



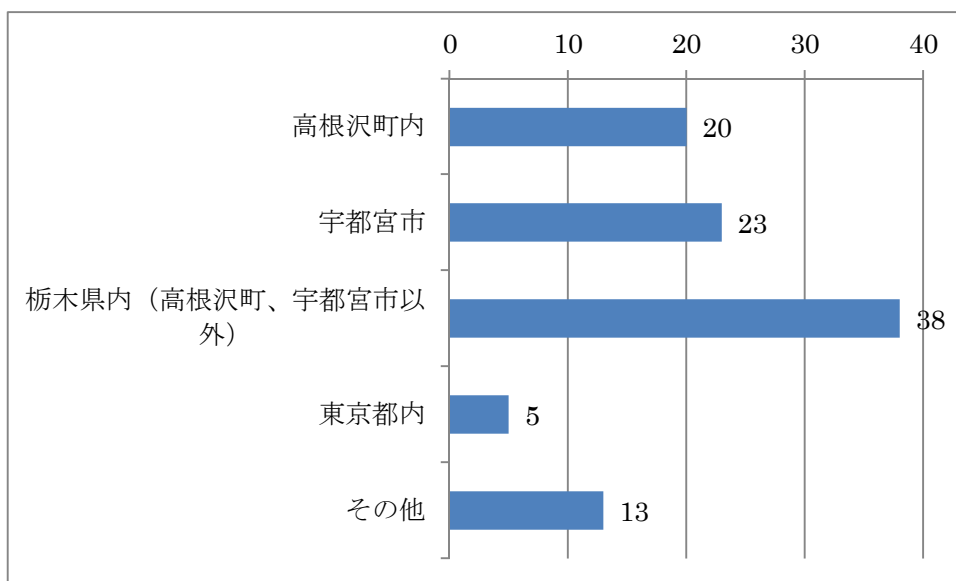
(自由回答：子供の人数<回答数全 27 名>)



⑥職業



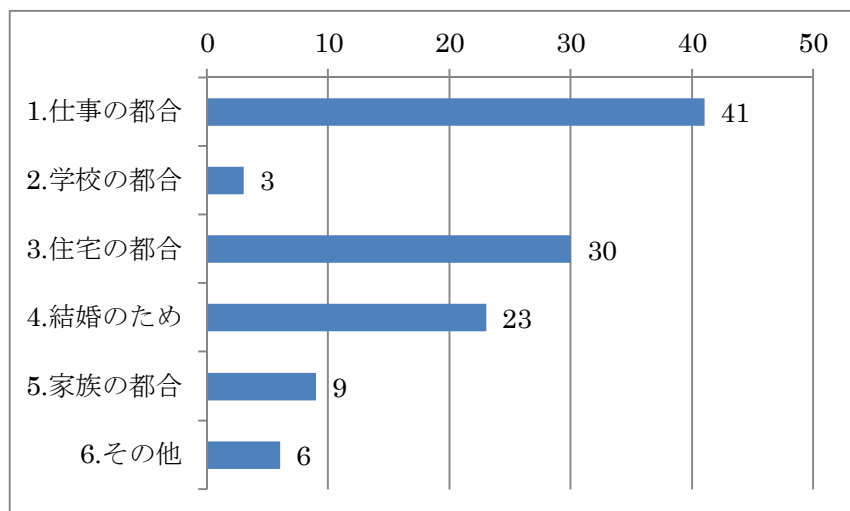
⑦勤務先（通勤先）



2. 転出の理由 [問1：1つ選択]

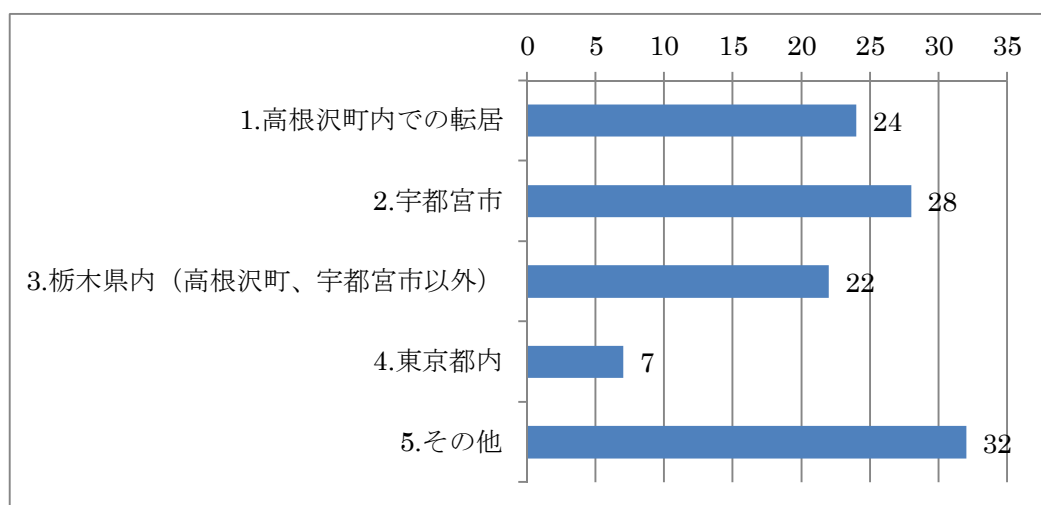
転出の理由として最も多かったのは「1. 仕事の都合 (41)」、次いで「3. 住宅の都合 (30)」「4. 結婚のため (23)」となっている。

(単位：人 以下同様)



3. 転出先 [問2：1つ選択]

転出先で最も多かったのは「5. その他 (32)」、次いで、「2. 宇都宮市 (28)」「1. 高根沢町内での転居 (24)」となっている。「5. その他」であげられた地域 (自由回答) は、千葉県、茨城県、神奈川県などの関東圏のほか、三重県、愛知県、兵庫県、香川県などの西日本地域、アメリカ、中国などであった。その他の自由回答で上記の地域をあげた回答者 (14名) の内訳は、10名が仕事の都合、学校の都合、住宅の都合、家族の都合、結婚のためが各1名となっている。



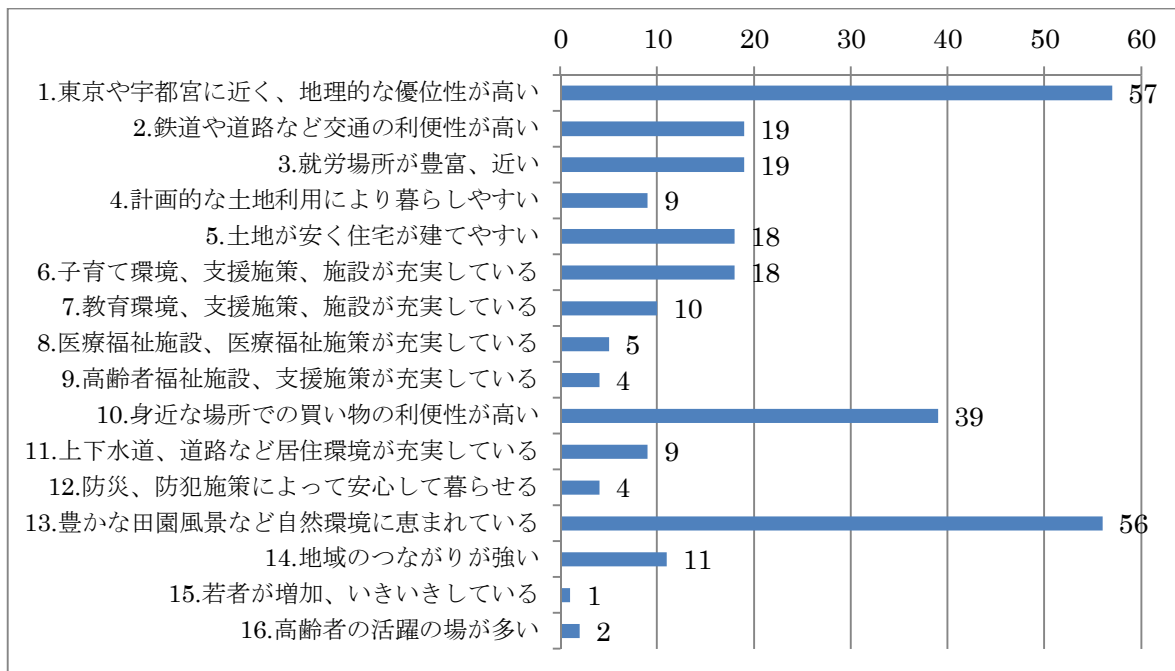
4. 高根沢町についての魅力 [問3：3つまで選択可]

高根沢町についての魅力に関して最も多かったのは、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い (57)」で回答者の約5割が選択している。次いで、「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている (56)」「10. 身近な場所での買い物の利便性が高い (39)」となっている。豊かな自然環境と東京や宇都宮に近いといった利便性を兼ね備えた生活環境が評価されている。

一方で、「15. 若者が増加、いきいきしている (1)」、「16. 高齢者の活躍の場が多い (2)」となっており、今後、あらゆる世代にとって魅力的な生活環境を整備するためには、高齢者、若者支援などが望まれる。

さらに、年齢別で見ると、20代 (49) は、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い (26)」が最も多く、「10. 身近な場所での買い物の利便性が高い (20)」「2. 鉄道や道路など交通の利便性が高い (10)」となっている。30代 (39) においても、20代と同じく、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い (21)」が最も多く、次いで「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている (19)」「10. 身近な場所での買い物の利便性が高い (10)」となっている。

次に、男女別で見ると、男性 (65) では、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い (31)」「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている (31)」が同数で最も多く、次いで「10. 身近な場所での買い物の利便性が高い (27)」となっている。また、女性 (47) においては、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い (26)」「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている (25)」は同じく上位となっているが、「6 子育て環境、支援策支援、施設が充実している (15)」が次いでいる。

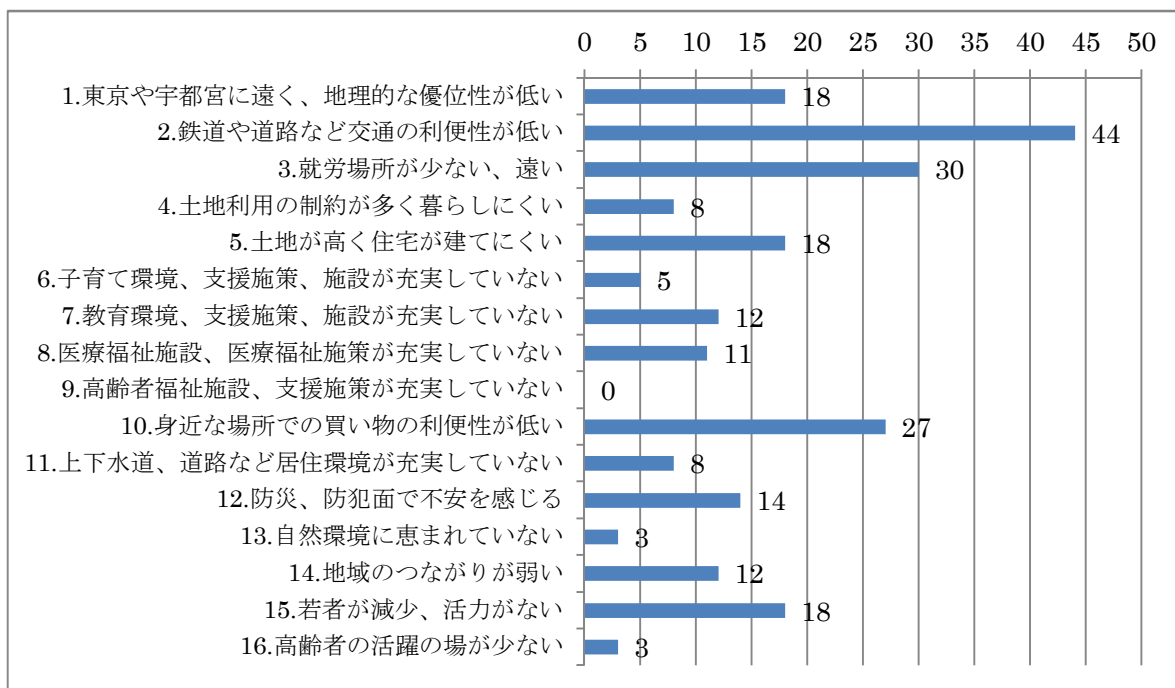


5. 高根沢町についての不満 [問4：3つまで選択可]

高根沢町についての不満に関して最も多かったのは、「2. 鉄道や道路などの交通利便性が低い (44)」、次いで「3. 就労場所が少ない、遠い (30)」、「10. 身近な場所での買い物利便性が低い (27)」となっている。「10. 身近な場所での買い物利便性が低い」は、前問の魅力としてもあげられていたが、地域によって満足度の違いが出ているものと思われる。

年齢層別に見てみると、20代 (49) では、「2. 鉄道や道路などの交通利便性が低い (18)」「3. 就労場所が少ない、遠い (18)」が同数で最も多く、次いで「10. 身近な場所での買い物利便性が低い (12)」となっている。30代 (39) では、「2. 鉄道や道路などの交通利便性が低い (18)」が最も多く、次いで「3. 就労場所が少ない、遠い (8)」、「5. 土地が高く住宅が建てにくい (8)」となっている。

男女別で見ると、男性 (65) では、上位2項目は、全体と同様の傾向であり、次いで、「1. 東京や宇都宮に遠く、地理的な優位性が低い (12)」「10. 身近な場所での買い物利便性が低い (12)」が同数であった。また、女性 (47) では、「10. 身近な場所での買い物利便性が低い (15)」が最も多く、次いで、「2. 鉄道や道路など交通の利便性が低い (14)」、「3. 就労場所が少ない、遠い (13)」となっている。



6. 転出前と転出後の住宅状況 [問5：1つ選択]

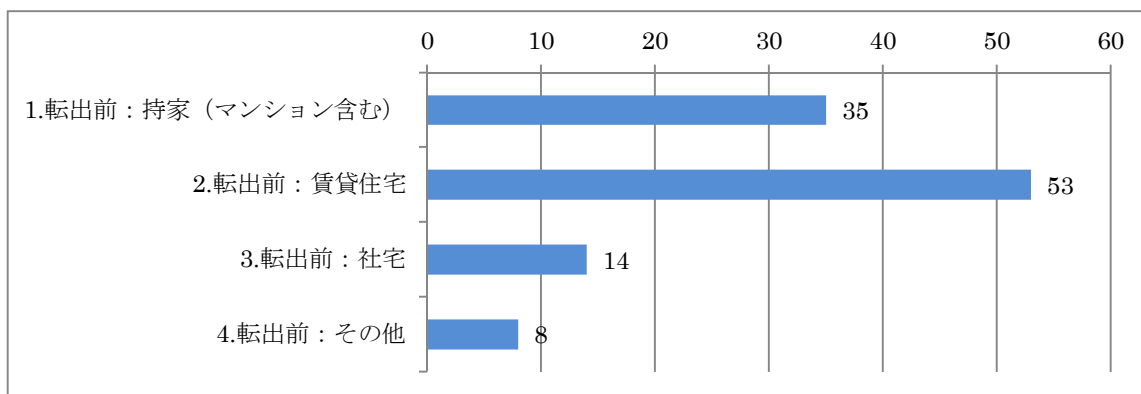
転出前の住宅状況は「2. 賃貸住宅 (53)」、次いで「1. 持家 (マンション含む) <35>」となっている。

一方で、転出後の住宅状況も同じく「2. 賃貸住宅 (63)」、次いで「1. 持家 (マンション含む) <34>」となっている。

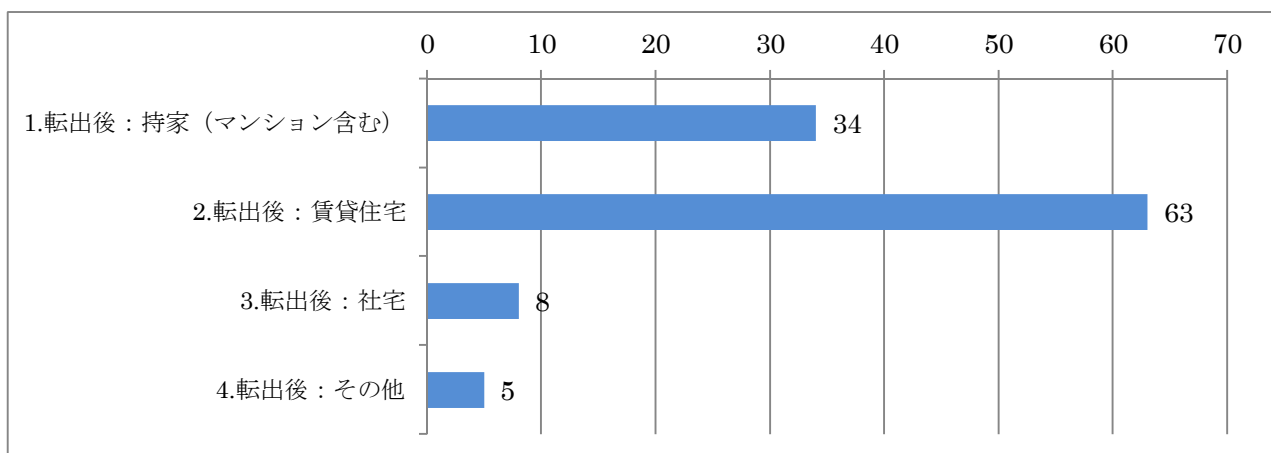
なお、転出前に賃貸住宅と回答した53名のうち22名は、転出後の住宅状況を持家と回答している。また、問2で高根沢町内での転出と回答した24名のうち、約4割(10名)が転出後の住宅状況を持家としている。よって、高根沢町に優良で適正な価格の住宅供給があれば、需要は十分に見込まれるものと思われる。

一方で、年齢別で見ると、「転出後：持家」と回答した20代(49)は9名で、30代(39)では17名となっており、前問の「町についての不満」でも見られたように、土地価格に起因して、転出しているものと思われる。

(転出前)



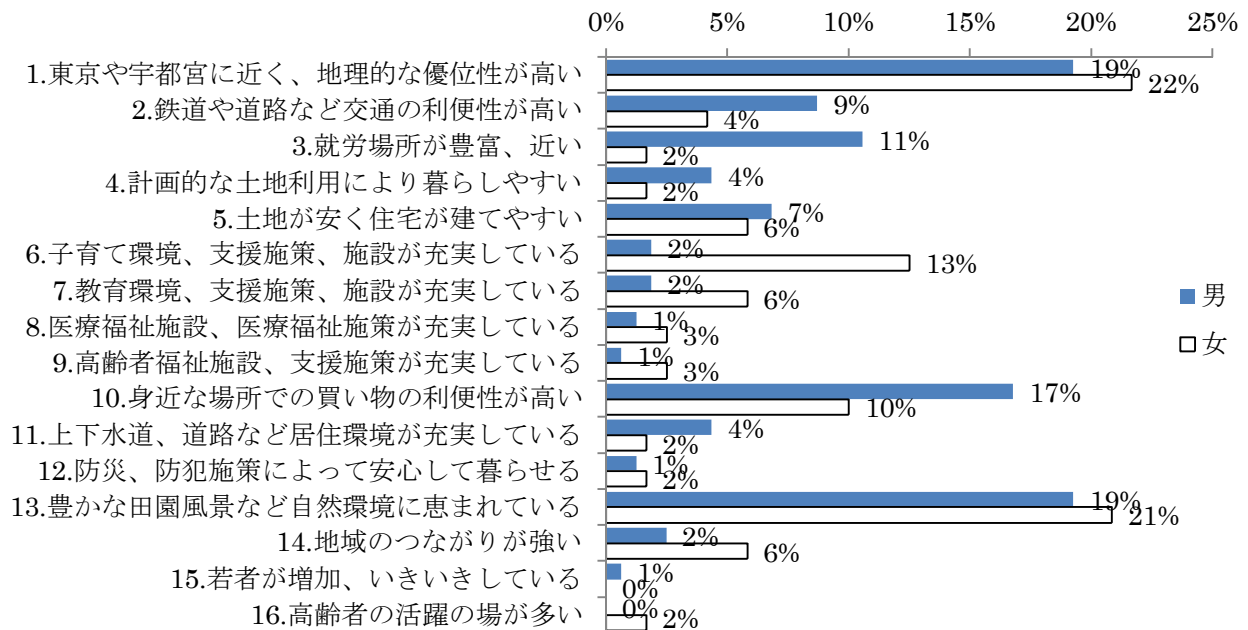
(転出後)



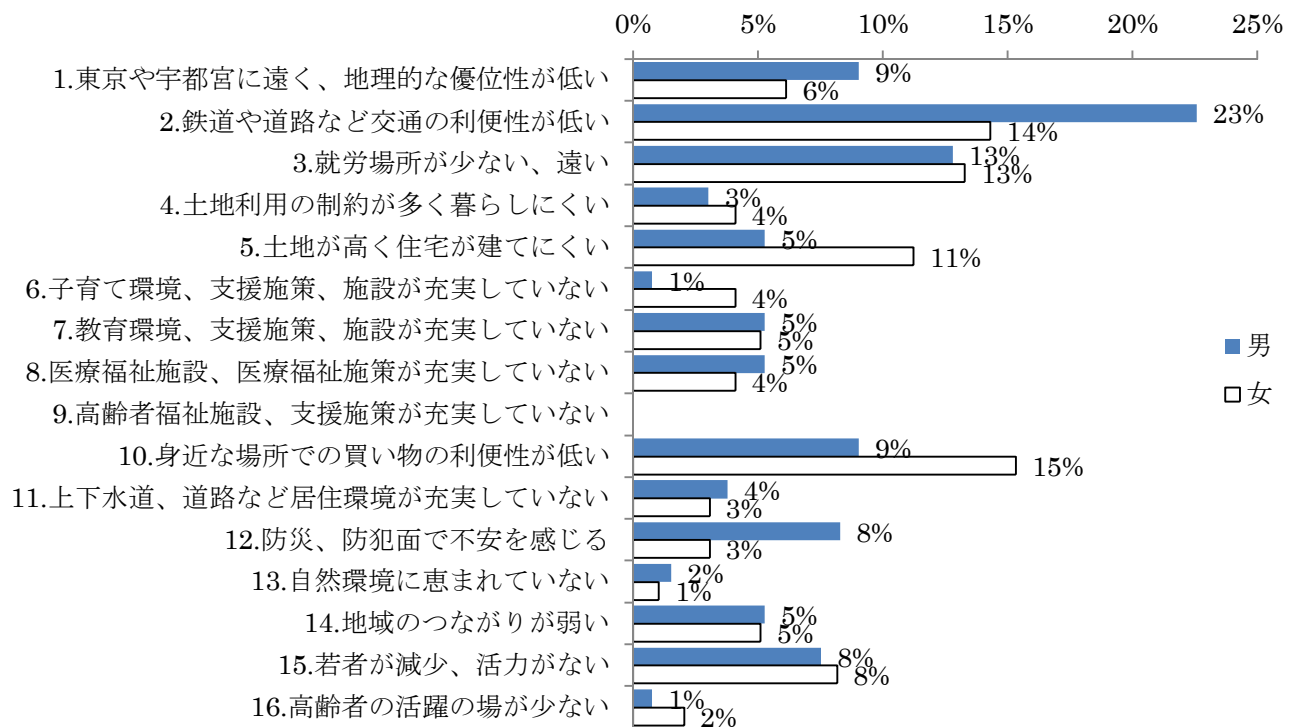
7. 転出者アンケートクロス集計

男女属性別に整理すると下図表の通り

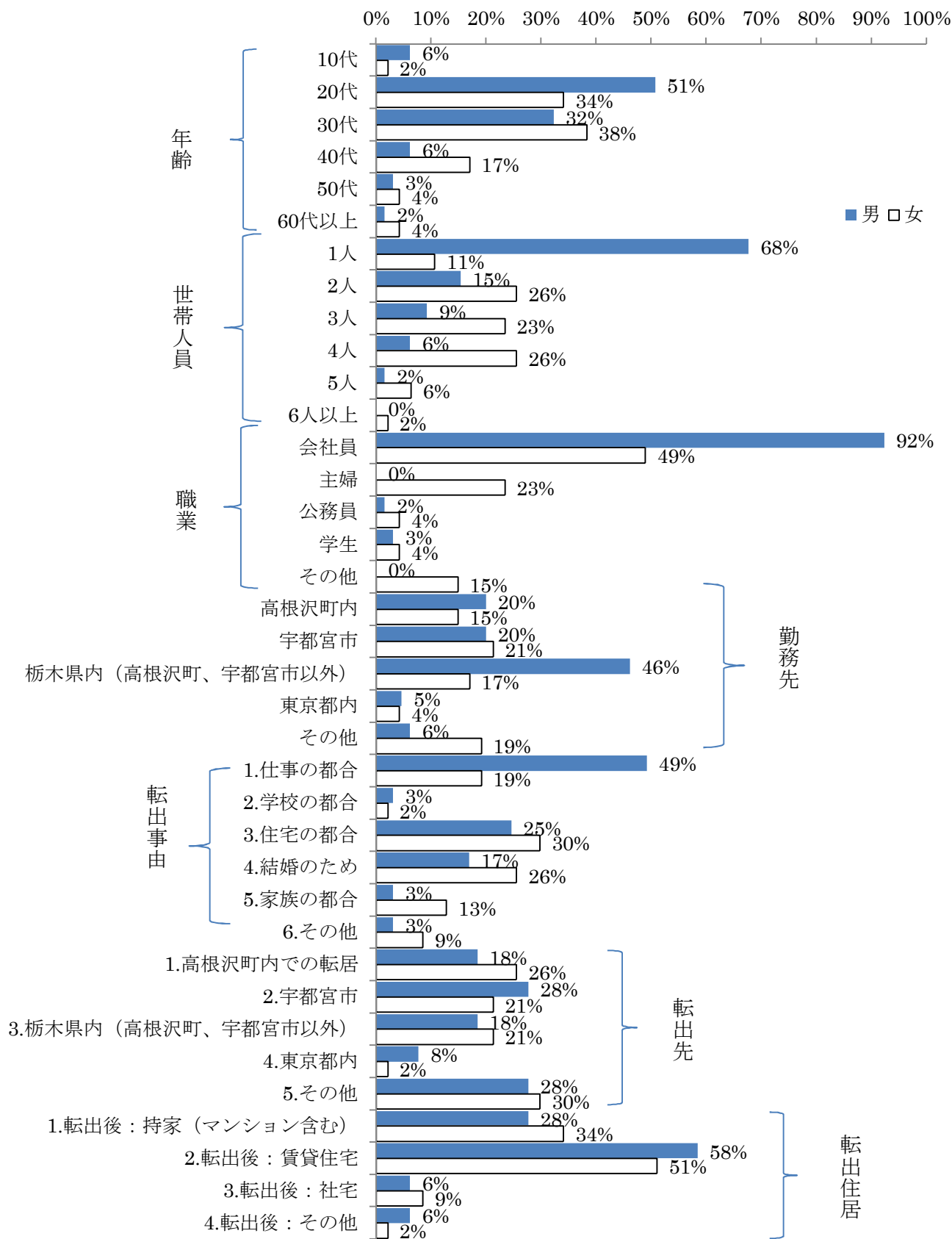
図表 高根沢の魅力



図表 高根沢の不満



図表 男女属性別・年齢・世帯人員・職業・勤務先・転出理由、転出先、転出住居



以下、差支えない範囲でお教えてください

1	年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
2	性別	男性	女性				
3	世帯人数（本人含む）	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上
4	配偶者の有無	有	無				
5	子供の有無	有（	人）	無			
6	職業 （パートを含む）	会社員	自営業	農林水産業	主婦	公務員	学生 無職（退職者を含む） その他（
7	勤務先（通勤先）	高根沢町内	宇都宮市	栃木県内（高根沢町、宇都宮市以外）			
		東京都内	その他				

<p>高根沢町の今後の発展のために ご意見をお聞かせください</p>	
--	--

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。